大正四年五月一日發行大正四
明治卅七年五月七日第三種郵

女子青年界

第十二巻第五號

要目

□小事は大事……松宮彌平
□基督の復活……植村正久
□宗敎の慰安……新渡戸稲造
□私の見た米國女子青年會……ミス、マシウ
□牧者の詩……ナイト作 河口正子譯
□歌……辻村靖子 安中花子
□彙報……
□讀者便り……
□英文……

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子青年會第十二巻第五號

目次

□小事は大事……松宮彌平
□基督の復活……植村正久
□宗教の慰安……新渡戸稲造
□私の見た米國女子青年會……ミス、マシウ
□最も人に讀まるゝ書……松榮譯
□牧者の詩……ワイリアム、ナイト作 河口正子譯
□一週間の旅……大呑久子
□歌……辻村靖子 安中花子
□彙報……
河井總幹事の出發……東京女子青年會……ミス、マシウ歡迎會……好友幼稚園……上田保姆養成所青年會……東京協同傳道女學生大會……同婦人大會……婦人矯風會……總會消息……
□讀者便り……
□英文……
□廣告……

YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume XII　　May, 1915　　Number 5.

Small Things and Great Things .... Mr. Y. Matsumiya
The Resurreection of Christ .... Rev. M. Uemura
The Comfort of Christianity .... Dr. I. Nitobe
The YWCA of the United States .... Miss M. Matthew
Well Read Books(Translation) .... Miss M. Morita
So g of the Syrian Guest(Translation) .... Miss M. Kawaguchi
A Week's Holiday Around Fuji .... Miss H. Onomi
Poems .... Mrs. Tsujimura
Miss H. Annaka

Miscellaneous;

Miss Kawai's Departure for America; Tokyo YWCA; Miss Matthew's Return to Japan; Neighborhood House; Kindergarten Training School in Ueda; Tokyo Evangelistic Campaign; WCTU Annual Conference.

Letters from Readers.

English Notes.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今生れし嬰兒の如く爾曹心を養ふ眞乳を慕ふべし此れによりて爾曹長く救に至らん
—彼得前二〇二—

AMERICAN BIBLE SOCIETY
TELEGRAPHIC ADDRESS "BIBLES YOKOHAMA

□四號活字新約全書詩篇附（六寸二分—四寸二分）

總金巾	地圖入	五拾五錢
脊皮マーブル縁	同	七拾五錢
折皮マーブル縁	同	壹圓參拾五錢
折皮金縁	同	壹圓六拾錢

□五號活字引照附新約全書（六寸二分—四寸二分）

總金巾	地圖入	四拾五錢
折皮マーブル縁	同	壹圓拾錢
折皮金縁	同	壹圓參拾五錢
上製一枚折皮金縁	同	壹圓參拾五（（

□五號活字小形新約全書（五寸—三寸五分）

總金巾	地圖入	參拾錢
折皮マーブル縁	同	七拾錢

□六號活字小形新約全書詩篇附（四寸二分—三寸一分）

總皮金縁		六拾錢
一枚折皮金縁		八拾錢
上製折皮金縁	函入	九拾錢
特製一枚折皮金縁	同 インデアルペーパー刷	壹圓貳拾錢

□英、獨、佛、露、其他諸外國語聖書各種
□定價表御申越次第送呈

各國語聖書發賣所
横濱市山下町五十三番
米國聖書會社
振替貯金口座 東京 壹八四壹〇番

院長診察（月、水、木、金、午前）
入院診斷後應需
松田、林、峰間、三副長は目下當院に在勤

東洋內科醫院
電話本局 八八八（病院用） 八九八（私宅用）
東京市神田區駿河臺鈴木町二一
御茶水橋附近

院長 醫學士 高田畊安

神奈川縣高座茅ケ崎町相海濱
從停車場半里
南湖院
電話 チガサキ 二番
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天に口なし 人をして言はしむ

Tokyo April 23rd 1915

Recently I had the opportunity to play in a concert the new "Yamano piano" and was really surprised of the excellent Quality of this piano, the action is in Oll positiors equal and extremely easy the middle register sonarous, the bass powerful, the disoant bright and soun ding

I congratulate Mr Yamano to the great success of this new piano

poul Scholy

拝啓

昨日音樂會に於て「ヤマノピアノ」を彈奏致候處實際該ピアノの優秀なるを認知致候其アクションの正確にして輕快なる中音部の明朗にして低音部の強良なる驚嘆の外無之候

終に山野氏の新ピアノの成功を祝福致候

四月二十三日

ピーショルフ

松本樂器合資會社改メ

山野樂器店

東京銀座

●胸の裝飾

●半襟は婦人胸部の主要なる裝飾として其權威は服裝の全體を支配す
（あしき半襟はよき衣裳の價値を無にす）

●半襟は婦人容貌の美を增損す
（汚れたる半襟は人の品位を卑うす）

●半襟は廉價にてもウツリのよきを可とす
（ドノ半襟を購はむ？　は……ドノ化粧品を買はむ？　と同一問題なり）

●廉價にして瀟洒なる半襟華麗なる半襟質實なる半襟、高尚優雅なる半襟は申すに及ばず、嶄新奇拔なる半襟は二京商店にあり

東京市神田區一ツ橋通町十六番地

二京商店 代表者

東京基督教女子青年會員　石井滋世

萬年筆修理

萬年筆御使用諸賢の御便宜を計り萬年筆一切の修理を迅速叮嚀に且つ頗廉價を以て御取扱可申候東京市内は御一報次第參上可仕諸地方の御方は現品御送被下候へば御修理の上直に御返送可申上候

修理料金表は御一報次第御送呈可仕候

東京市本郷區駒込坂下町一一九

パンリー萬年筆製造販賣元　合資會社　エス、エス商會

電話下谷六四九六番

パンリー萬年筆

十四金ペン付。インキ止安全裝置。クリツプ付。

實用向逸品御用命願上候。若し現品御覽の上御意に充たざる節は直ちに御返戻相成度然る上は代金早速御返却可申候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

久かた町より

安井哲子著

五月中旬發賣

シドニ、ギュリック博士著
澁澤榮一男閣下序
文學士栗原基先生譯

日米問題

特製 八拾五錢
並製 七拾錢
郵税各八錢

新渡戸稲造博士述

人生雜感

忽ち再版
定價八拾錢
郵税八錢

スターバック博士原著
小倉清三郎先生譯

宗教心理學

定價八拾錢
郵税金八錢

アリス、コークラン女史著
成瀬仁藏先生序
林静太先生譯

婦人の典型

寫眞十一葉入
定價壹圓
郵税金八錢

内村鑑三先生著

宗教と現世

定價壹圓
郵税金八錢

發兌 東京京橋尾張町 警醒社書店 振替東京五五三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子青年界　第十二巻第五號（大正四年五月一日發行）

會説

小事は大事

御承知の通り救世軍では毎年克己週間と感謝週間とを守つて、其の際に多數の人々から寄附金を仰いで居ますが、其の集金は救世軍が活動する費用の大部分を支持するものになつて居るといふ事である。そして其の寄附金は一口に拾圓も拾五圓も出すといふ人は殆ど無い位で、地方などの話を聞くと、少ないのは五錢三錢の小額から、多くても一圓二圓までの口が多いといふ事である。それでも能く毎回萬を以て數へるほどの金高に達して有益な資財となつて働くといふ事は、私共に取つて大なる教訓を與へて居るものであると思ふ。

救世軍では能くさういふ風の集金をいたしますが何れも成功する方で、彼の年末になると町の要所々々に出して集金する慈善鍋の如きも、其の一つであるが、其の鍋の中に入いる金は圓以下の金が多いのでせうが、それによつて市内數萬の貧民が慰められ賑はされる事は一通りではない。私は救世軍の斯の如き集金の手段や方法が、必ずしも最善の手段と思ふのでもなければ、其の方法の是非得失を批評したいといふのでもないが、兎に角救世軍が誰れも知つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て居るやうな偉大な働をして居るのは、零細な金を集めて、それが資力の一部分になつて居るといふ事を看取してもらひたい。

さういふ事は救世軍のみでない。此間も或る教會の青年婦人會で貧民救恤の計畫を立てて、其の教會を始め有志の人々に訴へて、不用品や廢物などを集めて會員各自が之れを携へて貧民窟に行つて、貧民の家を訪問して、其の實情に應じて相當の施與をして歸つたといふ話であつた。これも別段に纏つた金や物品を調へての働ではなくて、僅に不用品や廢物を集めて適當な方法に之れを使つたのであつた。若し其のまゝにして置けば、不用品は即ち不用品で、廢物は即ち廢物となつて棄てられてしまふ物が、善用せられて大なる働をした譯である。

思ふに、何事によらず細微なことを措いて大事はない。細かい所に留意して骨折るのが、軈て大事を成就する基であるのは如何なる場合に於ても同じことであらう。

讀者諸君は本誌前號の誌上に掲載した一米女史の「誤解の起る點」をお讀み下さつたでせう。目下日米問題といへば、世界の視聽を惹いて居る程の問題で、勿論其の原因する所も單調ではないと思はれるが、しかし一口に言へば最初から大々的の行違があつた譯でなく、行違の起る前に鎖細な誤解とか錯誤があつて、それが漸次今日の問題を生むやうになつた事は疑ふ餘地がないのである。一米女史の觀察は十分此の點を説明して餘りあるものと思ふ。隨分今日では米國の行動に不快の念を抱いて不穩の言説をなす人々もないでもないやうだが、日本で不快に思ふ所は米國でも不快に思つて居るだらうし、此方で五分の理があると思へば彼方でも五分の理はあると考へて居る。結局理屈や武力で片付く問題ではない。私はそれは巧妙な外交談判や精鋭な武器よりも、我にもつと高い道德があり、彼にもつと寛い裕やかな心があつたならば、即座に一掃し去らるべき事柄ではあるまいかと思ふ。言ひ換えれば普通の眼からは鎖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

々たる事柄と輕視されて居るものが、却て問題の底に横はつて居る眞の因由になつて居るのに氣附かない爲めであるといつても差支ない。よろしく此の邊から改善して行かなければ、日米國交上の紛糾は到底近き將來に於て解決がつかうとは思はれない。

　私共の日常の生活の事に想到しても矢張り同じ事である。最も大なる困難は矢張り小事と見て忽にするに胚胎することが多い。私は此頃某女子教育家の談話といふのを讀んだ。其の說によると我々は成るたけ簡易生活がしたい、しかし東京は家賃が高いのでそれが困難であるから、安い家賃で間數の少ない小さい狹い家に住ふやうに慣れなければならぬといふやうな意味であつたが、これは或る點からさうであるとも考られよう。併し私共の簡易生活は決して家賃問題だけではない。もつと生活上の鎖細な事と看過されて居る所に着目する必要がある。例へば衣服の事でも飲食の事でも時間を無駄にする事でも規律を重んぜない事でも、隨分考へねばならないことが多い。私が此間友人の家を訪問して居ると、其のうちの妻君が娘を連れて娘の下駄を買ひに行つて歸つて來た。其の下駄の價は一圓七十錢とかであるといふ、そして實際は其の娘は其の下駄では滿足しない、もつと高價なのが欲しくて一圓七十錢のでは餘りいゝ返事をしないで外を向いて居たといふ話。今の東京の中流の家庭では娘の下駄に一圓七十錢どころでない二圓も三圓も拂つて居る家は珍らしくないと思ふ。私のやうに何時も三十五錢の杉の下駄を穿いて居るものには想像も及ばない話である。これに準じて着るものでも髮の飾でも、從つて生活萬端が贅澤に流れて居る。

　又、或る人は夫婦暮で子供もない、そして主人は毎朝早く會社へ出かけて夕刻に歸るのであるから、詰り妻君一人のやうなものである、然るに下女が三人に下男が一人都合四人の雇人を置いて居る。そして書生も居る。そして其の家がどれだけ忙しいかといへば、妻君は美衣美食で以て家事上の働は何もし

ないで皆雇人まかせにして居る。妻君が相應に家事上に働けば下女の一人や二人は減らしても十分事は足りるのである。一體日本人の頭には勞働するを卑しむ風がある、このために私共の無形の損害はどれだけであるか分らない。このやうな妻君が坐つて居て下女を澤山に使役するのが豪いのであるといふやうな劣等な考は全然私共のうちが取去らねばならぬ。いくら簡易生活だの、輕便な暮方だのといつて見た所で、これ等の點に氣が附かなければ到底も滿足な結果が得られよう筈はない、實に家賃が高い位の問題ではないのである。簡易生活の發端は先づ下駄の儉約にある、次に下女の廢止と妻君の活動にある、更らに衣食住のすべてに對する自制克己にあるこれ等の鎖細なるが如くに看過されて居るものが、深き注意をもつて重大事と認めらるゝに至らねば解決し得らるゝことではない。

私は斯く考へ來つた時に私共が善事を行ひ徳を積むといふことに於ても、矢張り同一轍であるを思ひ到らずには居られないのである。例へば人は誰でも一概に大慈善家になることは容易に成し得べきでない、私などは勿論さうなりたいとも思はないが、たとひ思つたとしても終生を費しても能はざる所であらうが、しかし人が心附かないほどの細微な親切を怠らなかつた爲に、それが大なる慈善となつた事實は決して珍らしいことではないやうに思はれる。

私は或る處で一人の妻君に逢つた。其の妻君といふのは元私が其の妻君の郷里に居た事があるので、よく其の幼少時代からのことを知つて居る、實に貧しい家に生れて其上幼少な時に父母を失つて、何の賴る處もない孤兒になつて其の町の人々から握飯などの施與を受けて僅に露命を繋いで居た、若し其の儘にして置けば終に餓死するか、生きて居ても乞食の群に入るか、魔窟にでも流れ込んでしまふやうな境遇にあつたのであるが、私の友人が可哀さうだと思ふ親切な心から某氏の管理する救濟院へ紹介して其處へ引取られた、それから相當に敎育も施され手

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

藝も仕込まれて立派な一人前の婦人となつて、先年良縁があつて結婚し、今では數人の子供さへある幸福な身分となつて居るのである。私は其の妻君の顔付から様子を見て、これが先年或る町で町の人から握飯などの施與を受けて居た憫然たる小娘であつたかと思ふと同時に、私の友人が可哀さうだと思ふて救濟院に紹介した事が、此の立派な妻君を作り上げたことであると考へると、自ら胸中に何とも言へない感想が浮んで來たのである。

此のやうな事柄は世の慈善に從事する人々の中には多數經驗さるゝ所であらうが、私の友人が最初其小娘を救濟院へ紹介するときには、こんな立派な婦人になるとも思はないで、只可哀さうなといふ親切心からに過ぎなかつたのであらうが、其の心にも懸けない程の親切は結局一人の婦人を滅亡から救ひ上げたのみならず、更に有用の婦人を作り上げる底の大慈善をなした所以となつたのである。實に爲すべきは善行である。如何なる鎖細なる善行でも必ず其酬を失はない。キリストが貧しきものに水一杯を施すもなほ天に於ける報賞を受くることが出來ると仰つたことは、眞に意味のある言葉である。

世には善を行ふといふのは中々むづかしいと考へて居る人もある。成程それはむづかしいでせう。しかし一概に大善行家になりたいと思ふからの事である。若し貧しきものに水一杯を施すの善行家となるには誰人も成し得ることではあるまいか。若し世に慈善を望んで、なほ成し能はざるに苦しんで居るものがあるならば、私は其の人に向つて言ひたい「先づあなたの衣嚢から任意に世の慈善事業のために捐金なさい、これ最も手近い慈善である」と。天下聖善の事をなすに妨げあることなし。其のよく成し能はざる所以は決して之れを成すことの困難ではなくて、自ら測つて成さざるによるのである。故に私共が善を行ふといふ場合に於ては如何なる鎖細なことにも熱心と誠實を以てこれを行ふに心掛けることが必要である。かくて怠ることがなければ、私共は終に天國を嗣ぐに足る大なるものともなることが出來るのである。（松宮生）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督の復活

牧師　植村正久

「ヨセフ枲布を買求め而してイエスを取下し之をその枲布にて裹み磐に鑿たる墓におき石を墓の門に轉じ置けり」（馬可傳十五章四六）

「少者かれらに曰けるは駭き異む勿れ爾曹は十字架に釘られしナザレのイエスを尋ぬ彼は甦りて此に居らず彼を葬し處を觀よ」（馬可傳十六章六）

この四十六節は如何にも悲慘である。その死屍を下ろして布に包み、しかも磐を穿りたる墓に入れ石を以て之を閉ざした。弟子達はまさかイエスの樣な方が斯の如き始末にならうとは思はなかつた。主が死なるゝとは夢にも想像が出來ぬ、まだ生きて居り給ふ如く考へたであらう。しかし冷へきつた死屍が墓におさめられてあるのを見ては其の死を疑ふ事は出來なかつた。主は全く死なれた。もしこれで終つたとしたらどうであらう。イエスの如き人があの樣な人格を現はしたあかつきに、唯斯の如く殺され墓に葬られてそれきりでは、果して神が世界にあつて正しきに與みし給ふものか、正しい事が終に遂げられるものであらうか、一體此の世界はどう云ふものか、若し是で終るものならば誠に心もとない話である。世の中は萬事夢の如くで全く暗黒の中に葬られる形である。しかし十六章の六節を讀むと即ちイエスは甦へられた。これでほつと息をついて先づ安心する。之は疑はしい處が斯くある可き筈である。これに就て色々説明を試みる人があるが、如何にして

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

もこの事實を解き去る事は出來ない。確に基督教はこの事實から起つた。弟子達の確信から起つたものである。この事實を迷信としては過ごされない。この復活に依つて人間は現在の儘に終らない、より以上の狀態に移る事が出來ると云ふ確信を得られる。

第一にイエスの復活の事を紀念する場合に、各自の家又は親しき者の中に既に此の世の人でない人が澤山あるであらう。確に此の世には死がある。この死と云ふ事實を各自の心に止めて之を眞正面から見て思ひ續けたらどうである、もし基督の復活が之を敎へないならば人生の行先は甚だあやふやである。しかしイエスは更生した「彼は此處に在らず甦りたり」との聲が聞えて以來、人の永遠の命死後の存在に就ての信仰が確になつた。吾々イエスの復活に依つて永遠の存在が信じられ悲慘なる中に大なる慰安を與へられる。この復活日は死者に對して希望を以て迎へる事の出來る喜ばしい祝日である。この紀念すべき日お互に關係ある死者に對し、この希望に對してイエスに感謝し慰めを經驗する事が出來る。

第二に、人の成行について確實なる信仰を得るのは吾々が神を信仰する事が出來るからである。神は決して吾々を捨て給はず飽くまで救ひ給ふのである。吾々はこのイエスの復活に依つて、この世界は神の支配し給ふといふことを痛切に感ずるのである。先刻も今日の献金は白國に送らうと云つたが、それに就いて考へなければならないのは、この悲慘な世の中が果して善くなるか戰が止むか、どうなるか、文明が進むとは云へ終局にはどうなるものであらうか、若しイエスを更生らした神がないとしたらどうであらう。如何に惡逆無道の武器も外國の計略も黨派の軋轢も例令どの樣に狂ひ猛つても、イエスキリストを押伏せて置くことは出來なかつた。イエスは終に更生つた。若しこの信仰がなければ正しい事を何處迄もやると云ふ勇氣が出ない。世の風潮に從ひ時世に諂ふならば、どうしても勇氣が鈍る。しかし此の世には如何しても基督を押倒す事の出來ぬ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生きた神の力がある。實にイエスの復活は正義の爲には何處迄も力を盡すと云ふ元氣を盛にせられる事實である。この事實が基となり道理となつて吾々が勇氣づけられ、これを以て出かけたり祈禱もするのである。殊にイエスの復活は吾等をしてキリストが今日如何になつて居らるゝかを思しむるのである。

羅馬書第四章二十四節に「我儕もし我主イエスを死より甦らしゝ神を信ぜば同じく義とせらるゝ事を得べし」又第八章三十四節にも同じ意味で「罪を定る者は誰ぞや死にて復よみがへり神の右に在て我儕の爲に禱告し給ふキリストなるか」とある。此處に大切な眞理がある。イエスの十字架が吾々の罪を救つて下さつた事は感謝に堪へぬ、イエスの死は吾等を理想的に救つて下さつた。云ひかへればイエスの死に依つて吾等が救はれる者となつた。しかしイエスが復活して今日不思議な力を以て、吾等の爲に働き給ふが故に、吾等が救はれて居るのである。我は葡萄の樹爾曹はその枝なりと云はれたが、本當にイエスがあるから救はれあふされるのだ。故にイエスの死は理想的に救つた。この罪ある吾々が救を全うする事の出來のは何か、これはイエスの更生があるからである。若しイエスが死なれた儘ならば、果して今日生ける力を以て吾等を救ふ事は出來ぬ。又若し十字架のみならば佛作りて靈魂入らずで、事が徹底しない。要するにイエスは復活して今神たる權能を充實し、萬民を導き支配される故に吾々は心丈夫に感ずるのである。即ち吾にあらずキリスト吾にあつて生けるなりとの信仰が起る。若し復活の事實を忘却するならば、斯の如き意味に於いてイエスを信仰することは出來ない。時々この復活を除外してイエスを信じて居る者があるが、それは除外例で、キリストの十字架と復活とは結び付いて居るのである。イエスの復活に依つて今日イエスはどうなつて居られるが、即ち生きて働いて居られることが分かる。

この復活は實に吾々に生けるキリストを與へるのであるポーロが彼は吾々を義とせんが爲に遣はされたるものだと云つたが、實に眞をうがつた話であつて、この信仰がないならは、吾々の信仰は空中樓閣に外ならない。この事實を信ずるに依つて吾々の根底は强固されるのである。(文責在記者)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宗教の慰安

博士　新渡戸稲造

私は、宗教或は信仰の慰安と云ふことを申上たいと思ふ。宗教或は信仰と云ふ事を論じ始るならば、殆ど、言葉に云ひ盡す事が出來ない。又學者が迷信と信仰とは如何違ふかと云ふ事を、幾百年、寧ろ幾千年の昔から論じて居るが未だ解決が着いて居ないそれ故今宗教は何であるか、信仰は何であるかと云ふ事は此處に論ぜず、皆様の御解釋にまかせて置きます。今日私が申すこの宗教は、必ずしも基督教とは云はない、回教でもいゝ、佛教でも神道でもいゝ、又儒教を宗教とするならば儒教でもいゝ、明白には云つて置かない。然し私は基督教徒の末席をけがして居る者であるから、宗教を直ちに基督教として話しをするかも知れない。が、今日は學術會でも又哲學講演會でもないから、若し私の宗教が基督教と同一のものになつても、之れが私の缺點だと云へば、缺點としても宜しい。

又本論に入る前に、私の云ふこの慰安と云ふ事を一寸說明して置き度い。慰安とは慰めで、心が不安を感じて居る時、落ちついて、丁度體に怪我をした時油を注がれるやうに、苦痛を去つた事を云ふのであります。例へば此處に不幸な人があつて、自分の苦痛を何處に訴へやうかと苦しみ惱んで居る時、誰かに人生は兎角さう云ふものだと云はれて「さうかそれぢや私一人でもないから諦めやう」と云ふのも慰安である。然し私はもつと深く此言葉の意味を取り度い。慰めと云ふ字の出來た元の言葉の意味が唯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心が騒然して居る時、これを鎮めると云ふのが、慰安ではもの足らぬと思ふ。少し西洋にかぶれて居るかも知れないがComfortと云ふ言葉になる、これを譯すれば「力を持つ」と云ふ事である、あゝさうかと諦めるのみならず、もう一歩進む事である、雨が降り嵐があつて、あゝ辛いと云ふ時、そのまゝ雨が降れば濡れるが當り前、嵐があれば荒れるが當り前と云つてそのまゝ忍んで居る事が慰安ではない、尚この上にもつと重荷を持つて居やうと進む事である。あゝ情けないと思ひながら、まあ〳〵諦めやうと云ふのばかりが慰安ではない、この困難苦痛を土臺として、尚困難に耐る事、これが私の云ふ慰安である。

扨今此處にどれが良い宗教かとは、私は云はない、何れでもいゝ、これは佛教の話であるが、私は理であると思ふから、お話するが、佛教のお經を讀んだ事はないから知らないが、其の話は一人の若き婦人が其愛する子供を失ひ、寢ても起きても、其の子の事が忘れられない、どうかしてあの子を取り返し度い、聞いて見れば近頃、釋迦と云ふ偉い神の樣な人が居るそうだから、その人の處に行つたら或は子供を復活らしてもらへるかも知れない、と思ひはるばる釋迦の處に參りました。處が釋迦が云ふに、あなたの御子をよみがへらせる事は出來やう、然し條件がある、それは家族に死人のあつた事のない家から三枚の木葉を貰つて來る事だ。これを聞いたその婦人はこれはお易い事と、早速村に行き戸毎に其の家に不幸のあつた事があるかを聞き木の葉を貰ひにあるきました。然し何れの家も同じで村中歩いたが一軒として死人のなかつた家はないので、遂に木の葉を貰ひ得ずに釋迦の處に行き愕然として悟りました。そして世の中には自分計りが子を失ひ、不幸に逢つたのではない、他人も皆親なり子なりを失つて居るから、嘆くべきではないと思ひ付き慰を得たのであります。この話は美談で一通り尤もではあるが、私には、不滿足だ、佛教がどうだこうだとは云はないが、私には不滿足で思ひ切る丈ではあきたらな

い、雨が降れば濡れるは當り前だ、世の中はかう云ふものだと云つて、重荷を負ふて立つて居る丈では滿足は出來ない、私はこの女が花よ蝶よと愛して居た子供を失つて、たゞこれを忘れて思ひ切るのみならず、自分の樣に子供を失ひし人がこの世には多いのだから、さう云ふ人を慰めてやらう、力を與へてやらう、と一歩強く進んで貰ひ度い、これが眞の慰安である。

世の中を斯樣見て居れば、實に古人が云つたやうに假の世、浮世だなあと思つて、云はゞ道を迷つて、間違へてこの世にきたのではないか、地球を出る時戶まどひをして、自分が來る處でないのにきた、と思ふ樣になるのであるのです。皆樣の內にはあゝ此の世は結構だと滿足をして居る方があるかも知れないが、これは或る一方から見れば實に幸であるが、又ある一面から見れば不幸である、然し結構であると思つて居ても、何かの事に當ればあゝこんな世に何故來たらう、嫌やな世だ、私が間違へて來たのかしらと感ずる事があります。人が順境にある時は、あゝこれが自分の世だと喜び得意で居るが、いつもさうは行かぬ、人は一生涯幸福で順境にのみあるものではない、或る時は逆境に居る時もある、その時あゝ嫌やな世だ、斯樣は思はなかつた、間違ひぢやないかしらと思ふのである、婦人が嫁に行くのも同じである、始め嫁する時は本人に地位もあり財產もあり健康でもあつて、何一つ不足なく幸福で玉の輿にでも乘るやうな思ひであつたのが、後には地位も財產もなくなり、その上良人の健康も衰へ全く以前の豫期と齟齬し、前からの約束ぢやなかつたのにと思ひ、あゝこれが私の一生の依賴者と思つて任かせて居たのが駄目になる事がある、夫婦關係のみでなく朋友の間柄でも、全く味方とのみ思ひ込んで信じて居た者が、一變して敵になる事がある。

學問は少しもいらない、理屈も知らなくていゝ、唯少し親切な心で人の話や世の中を見て居ると、皆それ〳〵苦しい境遇にをつて、哀れ浮世と云ふ一册

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の本を懐にもつて居る、例へば田舎の旅籠屋に行きそこに飯盛りの老婆が居るとして、その者の年をきけば六十だと云ひ、たつた一人ぽつちで白髪の頭をして尚遠くに奉公をして居るその理由をたづぬれば必ず、良人には死に別れ子供はたよりにならず、親類は尚頼みにならないので奉公をして居ると云ふ様な悲惨な歴史をもつて居ります、然らば年の若い強い女ならばさう云ふ事はないだらうと思つてこの町の者かと聞くと、矢張りさうぢやない、遠くから來て居て自分が長女で下に多くの弟や妹が有りそれを養はねばならないので奉公にきて居ます、給金は、三圓餘り貰つて居りますが皆家に送くるので客の前に出る時かける半衿も買へない、と云つて同じくあはれ浮世の一冊を持つて居ります。そしたら金持ちなればさう云ふ苦勞はあるまい、と云つても尚、華族さんや千兩箱を積んでその上に寝て居る金満家でも矢張り苦勞が絶へないと云つて居る婦人もあります、石剛石の指輪をもつて居たら嘸い丶だらう、指輪をもつて居るのが慰安になるか、兩手に二十個の指輪をさして居て尚泣いて居る婦人も居られる。地位があつても學問があつても金銀財寶を身に纒ふて居ても、又娘も夫人もお婆さんも、皆この浮き世の嘆を持つて居る、先き程幸福な人と云つたが今日は花、明日は月と浮かれて世の表面ばかりを見て通つて行く人は幸福で氣樂だ、然し又それ丈け不幸である、丁度お茶の様なもので薄くして呑めば甘いがもう一段濃ゆくして呑めば苦くなる、あ丶お茶と云ふものは苦いものだと知らねば味がない。人生もその深い處を考へずに表面をのみ通つて行けば、苦勞もなく氣樂に行かれる、人が子を失つても見かへりもせず夢の様にして過して行けばよいが少し深く親切に考へて見れば、哀れを感ずるのであります、此處に人生の妙味があります。玉露を薄く出して甘いと云ふよりも、濃く出して苦いと云ふ事を知るは一歩進んで居るが、これに止まらず尚もう一歩進んで濃く出し、苦いがなほその内に甘いと云ふ處を見ます。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

これが眞の慰安である。

苦い中に甘みがある、甘いなあ、何處からこの甘みが來るだらう、誰でもこれを求めて居ると思ふ、誰も中途で甘んじて居る人はないでせう、眞の呑底迄行き苦い底を越へて甘い處に行く、此れには他にも方法があるかも知れないが、私は宗教より他にはないと信ずる、何の宗教でも與へるか知らないが、先程の婦人のやうに釋迦の許に行き、誰でもかうだからと諦める丈ではあきたらない「仕方がない私の運ですもの」と思ひ切る、此れはよく婦人にある事で「斯樣な處に嫁して來て實に苦しいがこれが運ですもの」と云ふ、自暴自棄になつて暴れ廻る人よりは進歩して居るが、唯、運であると諦める計りでなく、使命だ、神が私がこれを以て世のために何かの役に立つやうに命令なさるのである、私はお使ひだなと考へる、例へば免職の辭令を受取つた場合にでも、「何の過ちもないのに口惜しい」とこれを破つて棄てるか或は諦めてそのまゝ破らずに置くかである然し唯破らずに置くばかりでなく、これを使命であると考へれば、これで他人の爲になるのだから却て嬉しいわけである、若しこの官吏生活が皆さんから掛けはなれて居れば三行半の離縁狀としてもいゝ、「罪もないのに」と怒て口惜しがるのは一番下等で、「あゝ運だから仕方がない辛抱しやう」と云ふ人は感心ではあるが尚中位ひである、然しこの三行半の中に、表は離縁狀であるがぢつと見ると其の裏を見れば、使命が書いてある、これにより人の爲に盡し、又自分の品性を高くする事が出來るのだと考へるのが最上である、必ずしも私は離縁をせねば宗教の慰安は與られぬとは云はない、勿論夫婦で宗教の慰安を味ふ事が出來ればそれに越した事はありませんが世の中はさうは行かないもので世に云ふ不幸で分れても其の中に重き使命を見出す時には云ひ得ざる慰安を與へられるものであります。

人生は心の持ちやうで二つに分れるもので、花を見ても此の花は皆貴女方の方にのみ向けて挿してあ

るので、「何んだ馬鹿らしい」とおこらずとも一寸花瓶を廻せばいゝ、又廻せぬ時もある其の時は自分が廻つて行けば見る事が出來ます。昔マホメットと云ふ人が其の弟子に「自分は如何なる奇蹟もする事が出來る」と誇つた時、弟子は「それではあの山を此處に持つてきて下さい」と云つた、處がマホメットは「山來い」と云つたが、暫くして自分があるき出したと云ふ事である、私が本郷の大學からの歸り道に櫻の下を通る時いつも頭に浮ぶ古今集の歌がある。

花散らず風のやどりは誰か知る
　吾れに敎へよ行きてうらみむ

これと對照しても一つ思ひ起す歌は同じく古今集の

吹く風と谷の水としなかりせば
　深山がくれの花を見ましや

里の花を散した風が滅多に見る事の出來ない深山の奥の花を目の前につれて見せるのである、思ひ樣ではこの二つの歌の樣な違いを生ずるものであります。宗敎は心の持ち方であつて、幸ひ事の滿ちて居るこの世を面白く思ふて暮す、これが宗敎の力によらねば出來ぬ事で、若し他にあるならば敎へを乞ひ度い。

先日一人の婦人が訪問せられた、遠くから來られたので、忙しかつたが面會して見ると、その婦人が云はるゝに「私は逆境にばかりあるが如何したら世を面白く渡る事が出來るのでせう」と、私は勿論學問も深くないし大した考へも持つて居ないが唯人を恨まず、人を憎くまずに樂しく渡つて居ると答へたが、其の婦人は如何にも不滿な顔付きをして不得要領で歸つたが、二度も目又同じであつた、三度目に訪問した時、どうした拍子か「これが使命だと思つて辛い事でも面白相に莞爾してやつて行けば嬉しい樣な氣になるを、世の中からは捨てられたやうに思ふ時でも、神からは愛せられ、他に泣いて居る人の涙をふいてやり倒れて居る人を助け起してやる使命を受け、その辭令書を貰つたやうに思つて居る、」と云つた處がその婦人の顔は俄かに一變して終つた、「先

生それでいゝのですか」と云ふから「私の宗敎は違つて居るかも知れん、又淺薄であるならあるでいゝ私はもと〳〵深い學者でないからよいが、唯エスキリストと云ふ人の體をもつて生れて來た方により天の神樣の心が解つたから、今生きて居る人々のため倒れて居る人があれば起し、泣いてる人があれば涙をふいてやると云ふ使命を與へられたと思つて居る」と私は方向を變へてから云つた、婦人は「それなら出來ます、私は唯暗い陰氣な影の蔽ふた死と天國とばかりが基督敎であると思ひ又さう聞いて居りました」と「さうかもしれないが私はさうは思はぬ、聖書に笑へと云ふ事はないが、笑ふと云ふ事は宗敎の禁物ではない、貴女は誰でも死人扱ひにして居るから陰氣である、御良人の放蕩も貴女が之は惡いので如何に辛い苦しい事の中にも、何處かに慰めがある、そして常にそれにより平和で安心して行かれるこの慰安の力を、私は唯キリストのみが與へるのではなかろうかと思ふ、若し他にもあれば伺ひ度い、基督敎と云へば磔刑のはなしだとのみ思へば陰氣な氣味の惡い樣に思はれるが、其十字架の上に輝いて居る榮光、御光を見れば實に美しい樂しいものである」と云つた事があります、此處に眞の宗敎の慰安即ち基督敎の慰安を見出す事が出來るのではあるまいか。（東京協同傳道婦人大會講演大要筆責在記者）

私の觀た米國女子青年會

ミス・マシウ

私が二年前に歸米致しまして米國各地の女子青年會を巡廻して得ました事の內で日本の女子青年會の爲に參考となるべき事柄と思ふものを皆樣に御紹介致す樣にとの御頼みで御座いますから玆に一言申上たいと存じます。

私は米國へ歸つて見て友達と女子青年會の人々に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

對して第一に喜びました事は米國の基督敎信者の總てが特別に米國の女子青年會の人々が以前よりも增して他の國々の樣子と他の國々の信者の働と女子青年會の働について深き興味を持つやうになりましたといふ事であります。勿論或所には米國と他國との交際に就て問題がありますけれども、米國の基督信者は以前より他の國々の眞相と働を知りたいといふ心を有する事が私に分かる樣になりました。色々の敎會や學校や女子青年會から日本の女子青年會に就て話をする樣にと賴まれましたが時間が御座いませんので、總てをお引受する事は出來ませんでした、私は日本が餘りよく解つて居ませんでしたし、賴れた人々の望の通り充分にすることは出來ませんでしたのは本當に殘念でしたが、しかし話をした後にはいつまでも其の話した事についていろ〱の質問がありました。又日本の方も支那の方も各自國に就いての話のために方々へ賴まれました。それは只珍らしいから聞きたいといふ譯ばかりでなく、本當の興味からで御座いましたと思ひます。さういふ風ですから或支那の方と日本の方は他の仕事をやめて方々へ行つて專らその樣な話ばかりをなさる樣になりました。其の樣な話は敎會ばかりでなく所々の商業會議所などでも頗る歡迎されました。又或大學校では支那印度日本の歴史を敎へる爲に日本や支那の人が先生をして居られる所もあります。又一方には東洋の事に就て書いてある書物は以前より澤山出版せられて從て其の讀者も殖えました。其の譯は方々の國々から旅行する人が增して、お互に國々の樣子が、以前よりも、もつとよく解つて親しくなりました事や又赤十字社の大會とか萬國基督敎同盟大會等が御座いまして、各國の人々が或目的について考が一つになつたからであらうと思ひます。又米國の大學の内には他國から澤山の學生が入學して居りまして、米國の學生と親しく交際するやうになりました事にもよると思ひます。

米國は若くて且大きな國で御座いますだけ常に新

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らしい問題が澤山ありまして前には自國の爲に考へる所が多くて他の國の事を考へる暇が御座いませんでした。丁度日本に於ける維新以後の狀態と同じ所が御座いました、それは最な事でございますけれども米國其の國の爲には考が狹くなつて自分の心を養う爲によい事では御座いません、何處の國からでも習うべき事はありますので、其事に注意しないで自分の働について計り考へますのは其國の爲に損になります。米國は何處の國からでも入り込む人があるならば喜んで許して居りましたから、他の國よりも他國に就て深い興味を持つ筈で御座います。又他の國が入り込むだ人々を本當の善良なる米國人に仕上げ樣とよく盡力する筈で御座います。今まで外の事計り考へて働きました事、又他國人で新らしく米國に入りこんだ人々に氣を付けなかつた爲に、今になつていろ／＼と考へるやうな事になりましたものと思ひます。そして私は何處へ參りましても「私は日本へ見物に參りたい」とか或は「日本に就いて最もよく書いた本はどれですか」とか、其の樣な質問は度々受けましたのであります。

そして大學校の先生方は自分の學校の生徒の爲に他の國の人々が入學する事をよいと思つて居りますから、處々の學校で他國の學生のために奬學資金の樣な企をして居るのを聞きました。それから他國に對する興味は米國各地の女子青年會に於ても持つ樣になりましたと存じます。

米國の女子青年會は唯他の國の青年會に興味を持つ樣になりました計りでなく、方々の青年會が一つになりましたと存じます。從つて本部と支部との關係は以前より親密になりまして、本部と支部は共同して働く樣になりました。それはお互に習ひ合つて全體の女子青年會の爲によい事は誰にでもわかる事でございます。

なほ米國の女子青年會の樣子の變つた事を申上ますと其一つは建物で御座います。

米國各地の女子青年會はだん／＼に其の町の人々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に認識されて到る所に立派な建物が建てられる様になりました。其建物を使つてする働は一種類の人のためばかりでなく、女學生は勿論、資産のある婦人も、年若の主婦も、勤め人も、會員となる様になりました。そして會員が人のため計りでなく、町内の婦人の必要に應じて出來るだけ其の必要に應じて働き、充分に滿足を與へる樣に盡力して居ります。例へば組や體操の爲に本部の建物まで來る事が出來ない程遠方に居る人々があれば、本部から出かけて行つても、其のためにする様になりました。

又夏期修養會も前には六ケ所に開かれましたが、今は十九ケ所に催され、其内には特別に田舍の婦人の爲にも催される様になりました。都人と交る事は好まない、田舍の人の爲誠に喜ばしい事でございます。女子青年會の働は女の働で初めに幹事はありませんで、私が前に日本へ參ります頃までは、十分に幹事がない事は問題で御座いました。けれども今は女子青年會の幹事の働が大抵の人に知られる様になつて大學を卒業した若い人は教師にならないで、青年會の幹事になる人が以前に比して餘程多くなりました。其の幹事を立派に養成する爲にニユーヨークの本部で頗る適當な學校を設けて、それを幹事養成所と申します、勿論よい幹事になる爲には本當に基督の精神がありませんならば、どんなに學問がありましても充分ではありません、けれどもかういふ様な大切な働をする爲に普通の學問の外に特別に女子青年會に從事するに適當な修練を積む事が必要で御座います。

又もう一つの事は私の考では米國の女子青年會の會員の中に前よりも祈といふ事が大切に思はれる様になりまして何處でも女子青年會の多くの問題について幹事も委員も會員も祈つて居る様で御座います。その通りで御座いますなら米國の女子青年會は若い婦人の本當に必要な方面の充實を與へ得ると思ひます。

しかし、其の進歩に就て深く考へて見ますと、其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の中には必ずしも危い處がないでも御座いません。私が見ました或所で漸くよい建物が出來て、水泳場もあり、體操場もあり、設備は何の手落もなく、幹事も多數居りましたがそれは物質的の方面が備はつて居つても、精神的に缺けた處があります樣に感ぜられました。どこまでも精神的の方面に女子青年會の本當の目的を達する樣にしなければなりません。又或所では幹事が多く居ります爲に委員も幹事のいふ通りに從つて丁度幹事の青年會の樣に總ての仕事が幹事任せの處もありました。又或所では委員も幹事も會員もよく働きますが、どうも別々になつて働いて居りますので、萬事一致することが出來なくなつて居る所もありました。さうですから委員も幹事も會員も協力一致して各自其責任を盡すことが大切でございます。これ等の事を考へて見ますと出來るだけ米國の高い理想の眞似をして其長所を取り、出來るだけ米國の危い所を避けて今日までよく進みました、日本の女子青年會の未來を一層改善發達せしむる樣にする事が私共の責任であらうと信ずるのであります。

例へば東京の女子青年會は、東京市に住む婦人を總て會員にする事は出來ますまいが、東京の色々の種類の婦人の爲、充分働く樣にしたいと思ひます。各學校や東京、橫濱市の外に、方々の大小の市や町にも青年會を起して、廣く婦人の爲に働ける樣に考へ、それ計りでなく田舍の人々の爲にも骨折る道を開きたいと思ひます。日本の青年會には日本の幹事が必要であります。英國や米國の人は他の御手傳に參る事は大層喜んで居ります、それと同じく米國は日本、支那、印度から幹事を派遣してもらひたいと望むで居ります、例へば今度の河井先生の渡米なさつたのも、日本に就いて話していたゞく計りでなく神樣の事に就いて米國の婦人に話していたゞきたい爲でございます。又米國の或所の男子青年會は日本の若い幹事が居りまして、よく働いて居ります、他國の御手傳をしていたゞく事も宜しいのですが、や

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つばり自國の人が主な幹事になつて働く必要が御座います。それで日本も未來の大きな女子青年會の爲に幹事を充分養成する様に工夫しなければなりません。これは本當に大切な事でございます。

日本の女子青年會はよくかくまで發展進歩致しました。それはとりもなほさず神様の御恵と高い理想の結果と皆が一緒になつてよく働きました事によるのでございます。これよりは一層理想を高め深く廣く考へて理想に向つて盡しますならば愈々發展する事はうたがひないと信じます。

最も人に讀まるゝ書

英國の博物館には三百萬の書があり、パリの博物館には四百萬の書がございます。世界の天才を代表して居る此等無數の書は、全世界で、聖書が最も人に讀まれて居る書物であると云ふ事實を示して居ります。實際、書中の書たる此の書は、野人や小兒へと同様に、敎養ある士人に、殆ど魔法のやうな力を持つて居ります。世界歴史のどんな時代でも恐らく今日ほど、聖書が思想家の上に力を持つた時はございますまい。辯舌家は矢にはぐ羽根を求める様に聖書へ行きます。詩人はその歌や劇に、天來の靈感を求めに聖書へ行きます。哲學者は孤立した事實を統一し、彼等を思想の系統に組織する爲の根本理を求めに聖書へ行きます。法律家や政治家は、彼らの法典や憲法の基礎を求めに聖書へ行くのでございます。

餓えて食を求める巡禮に、今日ほどこの生命の木の甘くゆたかな事はございませんでした。縛しめられて居る奴隷、貧に苦しむ乏しい人、此世の生に望を失つた、病者や臨死者は、書中の書たる聖書に慰籍を求めました。また富めるもの、高位高官の者、暇のあるもの、才能敎養のあるものが、青春、氣力の酣な時代に、蟻が密へつくごとく、小鳥が薔薇花

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をたづねる如くに、此書へ參りました。詩聖テニソンを御覧なさい、彼の詩歌には聖書の引用が三百ございます。文豪カーライルを御覧なさい、彼は唯一の偉大な永朽的の此聖書を、聊か解かんが爲に、佛國革命及び世界の英雄を用ひやうとしたと云つて居ります。第十六世紀の宗教家マルチンルーテルを御覧なさい、彼は新らしき獨逸國を建設するに際し、神の永遠を謳ふ偉大な詩篇に助けられたと云つて居ります。カーチユームで殉教した名將ゴルドンを御覧なさい、彼の英靈が天に去つた時、聖書は彼の胸上に置いてあつたのでございます。

圖書舘には、實に汗牛充棟、幾百萬の書が藏されて居ります、然し聖書は唯一册あるばかりでございます。家々の燈火はまた無數でございますが、收穫を來す太陽は唯一つしかございません。（松榮譯）

牧者の詩

ウイリヤム、アレン、ナイト作

河口正子譯

「フアズエル」と客人は二人の少女と向ひ合つて、お茶の卓に凭つて居た時、微笑みながら申しました、「フアズエル」と又彼は二人の少女に渡した名刺を指して繰返し、其の發音の仕方などを親切に敎へて居りました。其の間如何にも樂しそうな様子が、彼れの光ある黑目がちの眼と、笑ふ時に眞黑な口髭の間に隱見して、優しい快活な顔に一層、愛嬌を添へる、純白な齒とに、よく顯はれて居りました。

此のシリヤから來て居る客人は極氣輕な人で、彼れの永年積んだ精神の修養と、閑雅な動作とが殊に著しく注意を引きました。私共はその夜シリヤの山の中腹にある、其の客人の郷里の事につきて聞いた物語は、長く忘れる事が出來ません、其中でも特別

に深い印象を與へたのは、牧者の詩について、彼れの少年時代の記憶をたどりつゝ話してくれた事です。

「かの最も美しい宗教的の歌である、詩篇の二十三篇にかゝれたのは、私の國の牧者の生活が基になつて居るのです。」と彼れは口を開きました。暫く子供等と冗談を云つて騒いだ後で、急に眞面目な默想的な顔を、私の方にむけました。そして申ますに「私達には眞實お馴染なものでも、貴兄方には珍らしくて、奇妙に思へるでせうね。」

「そうですとも、ですから慥かに、貴兄の御名前を讀みちがへるよりも、もつと重大な間違をする事がありますよ。」

彼れは愉快そうに微笑み、熱心に語りつゞけました。

「私の國の人達の日常生活の中で、今も昔も少しも變つて居ない澤山な事が、聖書の言葉や、聖書に現はれて居る宗教的觀念などの中に、よく含まれて居ります。こんなに遠く離れて居る貴兄方は、何が書いてあるか御存じなくて、よく誤解したり、正しい印象を、得そこなつたりなさるでせう。」

「何卒、ではその二三ケ所を云つて下さい。」と私は耳をすまして居た、二人の娘の顔を見乍ら申しました。幾何かの實例を擧げた後、彼れは言をつゞけました。

「そしてね、あの聖書の内に羊牧者の事をうたつた詩篇があるでせう。あれを、あなた方は二つの部分即ち一は羊牧者の生活になぞらへ、一つは主人と客の宴會に比喩を轉じて居る様に分けて、お出でになりますね。」

「エヽ私共もその事をはなした事がありますわ。」

如何にも黑人らしい様子で御茶を入れて居た妻は口を入れました。

「そして私達は、あの實に立派な短い詩篇が、たゞ牧者の生涯に比喩へたのみで、終つて居れば、もつと好いのにとさへ申したことがありますよ。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

この無双の詩篇にある、一つの文學上の瑕疵に對する私共の意見を、大膽に云ひ放つた、妻に適當な應援を與へるつもりで、

「何だか、その歌の終りが宴會の場にかはつて居るので、奇麗なしかも單純な調子が失れて、その代りに、いやに重くるしい樣な、餘韻を殘して、結ばれて居るやうに思はれます。貴兄はこの詩が實際、終りまで羊牧者の比喩でおはつて居るとお考へになるのですか。」

「はあ、さうです。」私は急に鋭い興味を以て、どうして私共がこの詩が終局まで羊牧者の詩であるといふ事をさとる事が出來るかとたづねました。そこで御茶の冷へるのも氣付かず、私共は耳を傾け、客は熱心に語り初めました。

「これは全部單純な羊牧者の歌で、始めから終りまで羊牧者の生活が歌つてあるのです。」

やがて何となく音樂の韻律と敬虔の念を抱かせる樣な靜粛さをもつた調節した聲で、「彼れはエホバは我が牧者なり、吾れ乏しき事あらじ、と詩の一句を誦んじました。

「こゝにその音樂の開始的旋律があるので、この調子の中に、悲哀な調子が歌の終りで、消えへてしもう迄、失ふ事の出來ない、基調が響いて居るのです。この後の句は皆唯この第一句の思想を種々の方面から見て說明したに過ぎません。」

私は此處に、彼れがなほも語りつゞけて居つた時顏に現はれて居た光と、軟かな聲の内に度々變つて行く調子を、今もう一度皆さんの前に持つて來たいやうです。客はいかに羊といふ動物が種々雜多の缺乏を感じて居るか、又羊牧者がどれほど廣く注意してゐなければならないかといふ事が、この詩篇の短かい句の內に、實に靈妙な筆調で、表はしてあるかを說明してくれました。

「この一句々々が皆判然して居て、消えたり失はれたりしては勿體ない程、貴重な、何かを各々附け加へて居ります。「エホバは我をみどりの野にふさせ、

これは鞠育と休息をあらはし、「いこひの水濱にともないたもふ。」これは唯、その場所が變つたのみで、同じ意味を示して居るのです。あなた方はこゝで靜かに谷間に咽ぶ小川を、聯想なさるでせう。それで休息のもう一つの畫面を得るのです。然しあなた方は羊牧者の生活の内で、最も清秀な一つの光景と、神に導かれて居る魂の最も得難き一つの祝福を、見落していらつしやる。一日中徘徊して居る中に、羊牧者は心中にたへず、一つの事を考へて居るのです。それは自分の群を水濱に導く事なのです。一日中の内でこの清澄いな水の御馳走にあづかる時が、一番いゝ時なのです、險阻な一滴の水もない小山や荒れ果てた平原の中央などで、この御馳走を見出し得る場所は、云はゞ羊牧者が如何に油斷なく注意深くして居るかを示す、好い證明になるのです。羊牧場の埃や、熱さにせめれて居た後で、やつと羊がこのいこひの水濱に、連れて來られた時の喜びは、まあどんなでせう。これがため羊牧者は其の全力を注がねばなりません。そして此處に牧者と羊の密接な關係があるのです。此處であなた方は、牧者の深い意味を知り度いとお思ひでせう。で、先づ聖書の中にある羊牧者の國では、この流が非常に少ない事を記臆して居て頂きたいのです。然し、羊牧者はそんな小川などにたよつては居ないのです。その理由は假令小川が見つかつても、その川床や土手は、大抵壞れかゝつて居て、その流れが又瀨になつて居たりするので、水が飲めない所が多いのです、羊と云ふ奴は、臆病で、水の流れでも怖がつてるのです。然し、それは無理もありません、羊は毛が深いので、好く毛が濡れると、水に引きこまれて、押流される事がありますからね。」

「まあ可哀さうに！それぢやどうして、水を飲む事が出來るのでせう。」

と、いつも動物に對して、厚い同情をもつて居る、一方の娘が叫びました。

「それは牧羊者が氣をつけるでせう、そうぢやなく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて？」

と熱心に客を凝視めて聽しながら、もう一人の娘が申しました。客の顔はこれらの質問に對して快活に輝き、

「さうです、若し牧羊者が氣をつけなければ、羊は美味しい水を頂く事は、大變困難でせう。」

狎戲けた樣子は消え失せて、彼れは急に眞面目な顔付きを、私の方にむけて、

「ねえ、君、私達はこの質問と答の中に、どれ丈の事が含まれて居るかを、學んだのです、若し主なる牧者がこれに氣をつけなかつたら、この悲慘な世の中で私達の要する休息は、一體どうして得られるだらう、いや、主は氣をつけたもうのだ。」

彼れの顔は卓の向ひ側の四つの可愛らしい目に向きなほつた時、再び快活になりました。

「毎日羊が美味しい水をいたゞけるやうに、どんなに牧羊者が氣を付けるか、話して上げませうね、好くお聞きなさいよ。羊の群が好く歩き廻る廣い所には井戸や泉が澤山あるのです、又ある所には、羊は元來、流れてゐる水が好きではありますが、水溜がこしらへてあるのです。牧羊者は流の少ない、木の一本もない所で、何處にこの水飲場があるか、よく知つて居ります。井戸や泉のいこひの水濱に牧羊者が其の群をつれて來る處は、實にいゝ光景です、その上牧羊者と其の群が徘徊ふ廣い〳〵森とした土地が、ずつとその周圍に擴がつて居て、瑠璃色の大空は頭上にアーチの樣になつて、蔽ふて居るのですからね。」

處に語を改めて、

「牧者が一寸ある音をさせますと、羊は皆橫になつて穩順しく、靜かにして居るのです、それから牧羊者は自分の水桶に、一杯水を汲み入れます、それ故、泉の水の湧き出る處に泡が立つて居やうと、又川の傍でしたら、流れが急であらうと、少しも羊は困らないのです。そして羊は皆落付いて、安心して水を飲む事が出來ます。即ちこゝに「いこひ」と云ふ言葉

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の微妙な意味が表はれて居るのです。
それから待つて居た羊は、笛が呼聲を聞くのですが、決して聞き違へをしないのです。そして感心な事には、自分の牧羊者の聲を聞分けて、他に、澤山の羊の群が一所に來て居る時でも、決して違つた他の牧羊者の處には行きません。それに別して奇妙に思はれるのは、羊がきつと、群になつて次々に來るのです、無論、牧者がそう敎へるのですが、かくは牧羊者に群にして羊を「いこひの水濱」まで連れて參ります、そして牧羊者はその傍に立つて番をして居て、羊は心行くばかり水を頂くのです。」
暫く默して居た後で、何處か遠くの方でも凝視めて居る樣な樣子で、
「それは〳〵奇麗な光景ですよ、天國をゑがく時ヨハネがこれをつかつて居りますが、ね、あの默示錄の内に、そは寶座の前にある羔かれらを養ひ、彼等を活ける水の源に導。」(七章十七節)
と欣然として聖書の一句を引きました。彼れがお茶碗をめぐし乍ら座して居る間、誰も言葉を發しませんでした、彼れはぢつと伏目になつて居りましたが、その目から、涙が傳つて居りました。然し程なく、彼れは吾れに歸つた樣に、
「然し私は(いこひ)の水濱に導びき給ふ。」のこの句を讀む時いつも思ひ起す、もう一つの光景を是非おはなししなければ。ならない若し誰かゞ畫いたら、それは立派な名畫が出來るでせう。私の親類の者が長年羊牧ひをして居た、あのレバノンの山の上には、東京にある、井戸や泉の樣な、きまつた水飲場がないのです、然し牧羊者がその險阻な山路をつたうて羊を連れて上る時、途中で泉や裂罅から音を立てゝ流れて居る、小川などを見つけるのです、羊は水をほしがつて居りますが、奔流しておる川の水は、到底羊には呑めないのです、彼れはどうするでせう、羊牧者はその流れの内に適當な曲り角や隅を見つけて、それに堰をこしらへ、靜かな水溜が出來るまで、水をせきとめて置きます、それからこの小山の上の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「いこひの水濱」に自分の群をつれて行くのです。主に信頼る靈魂に對する、主なる牧者の行き届いた注意をゑがくに、この山ぎわの光景よりも、もつと適切なものが他にあらうとは私には思はれません。

（つゞく）

○一週間の旅

大呑久子

梅香る四月二日の朝早く市ヶ谷の停車場へと向ひましたのは、ミス、レーガンと私の二人、ミスレーガンは短いスカート、私ははきなれぬ袴に下駄ばきの旅裝、市ヶ谷より車中の人となつて、珍らしい郊外の春景色をながめつゝ午後一時過大月驛に着しました、それから、下吉田行の鐵道馬車にゆられ〳〵て下吉田に着し、人足の脊に荷物を托して數哩を徒歩、川口湖畔の船津の旅館に參りました。此日は曇つて居りましたので富士山は纔しか見る事が出來ません、旅館は湖畔にありますので、小波の音さへ聞えて夕暮の景色は何ともいへません、こゝだけでも此旅行の望を充分滿足させるやうに思ひました。

翌日圓かな夢からさめて一方の障子を明くればすぐ目の前に大きな〳〵富士山がと申してはおかしう御座いますが東京で見ましたのとは餘りにちがふので、本當にびつくり致しました、もう寐てなど居られません、障子を明け放して食事をしたゝめ、舟の用意も出來ましたので、愉快な飛び立つ樣な思ひで舟に乘込みました。底も見える樣な澄んだ湖を靜かに棹して長濱と申す所に着きました時は風が出て雨さへ少し加はつて居ります、それでコートに帽子で身を固め村を通りぬけ山を登り西湖の畔を過ぎて雪を踏み木陰の苔むした岩石の道を辿り雨に一層の景色をそへた青木ヶ原、燒野を眺めて過ぐる中に、やがて目指す精進湖が見え初めました。湖畔の山路を上り下りします間にも雨に烟る精進湖の附近の景色にばかり心を奪はれて足の疲れも忘れ午後湖畔の村落の旅館に達しました、それからはぬれた衣服の始末やら珍らしい田舍の樣子等を眺める事の中々忙しく食事の事等何處へやらお茶の時刻にやうやく持參の籠を開いてお腹をこしらへた樣なわけでした。

翌日は日曜日なので休息の爲滯在し、向ふ岸の精進ホテルへ晝食に參りました。此日は昨日にかはる晴天で眞青な湖面の向ふには雪を戴く富士山がくつきりと浮び出て、美景何とも言ん方なく、愛らしき鶯の聲は木の間をもれ來て誠にうらゝかな復活聖日でした。食後は山の上からは遠く西湖、川口湖が見えるといふ事を聞きましたので近くの山へ登りました。少し登る中に路を失ひました。然し下りるのも殘念と路なき路を踏み分け、上へ〳〵と登りました、此山は中々の急坂にて土が誠に軟弱で足止りが惡いので下駄ばきの私には殊に困難を感じました。さうかといつて下りるのはかへつてあぶなく、一奮發と勇氣を鼓して有り合ふ木を枝にして日光に照付けられながら、木蔭岩蔭に休み、雪に口を潤しては進み段々に頂上に近づきました。先に登つたミス、レーガンが早く〳〵と呼ばれる聲に力

づけられて驅る樣にして登りつめますとまあ何と形容しませうか未だ甞て見た事もない絶景、瑠璃色の水をたゝえた元酒湖それを圍む山々、青く澄み渡つた空、樂園もかくやと思ふ程しばらくの間恍惚として言葉も出ません。いつまでも去りがたく思ひましたが、登るのに時間がかゝりましたので日が暮れては大變と漸く見附けた路を急いで下山致しました、下り道は木蔭の代りに殘雪が脛位までありまして歩み難く、轉々又轉々、やつと下る事が出來ました、苦しんだおかげで絶景に接する事が出來、何となく心嬉しく勝利を得た樣な氣持がして宿に歸りましたのはもう夕景でした。苦の後に與へられる喜びを本當に味ふ事が出來ました。明日は身延へ出立するつもりでしたがあまり疲れましたので、もう一日宿まる事として二人で祈禱をなしキリストの復活について考へ靜かな眠りにつきました。

翌五日朝早く起きまして案內者も連れずたゞ二人、二里半餘ある所へ風穴見物に出かけました。道々には道しるべの棒杭がありますので、それをたよりに山に分け入り廣い原をぬけ又山の中に入り一軒の小家の所に參りました。所がそれが風穴の番人小屋でしたので案內を賴み、蠟燭片手に雪の積つた梯子により、氷に閉ざゝれた穴へ入りました。穴の中には三軒の家があり、それには種紙が貯藏してあります。氷の上を步きますので草履の私さへすべつて這ふ樣にして入りましたし、ミス、レーガンは案內人の袢天をしき其上に座り壁の樣にしてお入りになりましたなどはちよつと東京では見られない圖でありました。奧には太い氷の柱が幾本となく下つて居りました、それを見てすべり〳〵穴の出口へ參りますと外から來る光線で氷が紫色に光つて誠に綺麗で御座いました。それからもと來た路を通つて精進湖をボートで渡り、ホテルでおいしい晝飯を食べて宿屋に歸りました。昨日は日曜學校をする事が出來ませんでしたので、せめて持つて來たトラクトやカードを村の人に分ちたいと思ひ、店先で人を集め子供にはカードを大人にはトラクトを與へました。後にいたゞいた書物はためになりますから、他のもいたゞきたいといつて、又貰ひに來た者もありまして大層嬉しく思ひました。それにつけても日曜學校をする事が出來なかつたのを殘念に思ひました。明日は愈々身延へ參りますので荷物も大抵荷造して臥床につきました。

六日は早朝起床身支度整へ七時名殘惜しくも精進湖に別れを告げて人足に荷物を脊負はせ身延へと向ひました。雪にうづもれたつゞらをりの山道をたどりながら、日曜日に登つた山の中途から左手に元酒湖を見て、幾つかの山を上つたり下りたりして、正午漸く精進から三里といふ古關村に着きました。そこでお辨當をいたゞき、道々採りましたすみれや其他の花の始末をして、新らしい勇氣を出して步きましたが、今度は山でなく大抵平地で步くには誠に樂でした。道は谷川に沿ひ、所々よい眺めの處があります。やがて富士川べりに來まして、舟を賴んで急流を渡り、河原で白いきれいな石を拾ひました。もう此時は大分疲れて早く身延へ着きたいと、そればかり考へて步く樣になりましたが、道草ばかりはやめられません。暮れ方やつと身延本社まで九丁身延町まで十丁といふ建札を見つけました。さあもう十丁と喜んで、進まぬ足を無理に進めて、十五丁も來たがと思つても社も見えず町もなし。人騷がせの建札かなと苦情を言ふ中に、燈の光がポツ〳〵見え出しました。行く先が認められては痛い足がなほ痛く、足の痛いも御存じなき都の方々の笑の種となき出さんばかりに、石段は這つて下り、やつとの思で宿に着きまし

た。箱根八里は馬で越すとかや、今日の山坂八里は馬も籠もない私共の徒歩旅行には容易の業にあらず、さるにても能く歩るけたと思へば疲れ果てたのも無理ならずと明日は歸京の計畫でしたが、とても足が痛くて歩く事かなはず又身延が面白さうなので、電報を東京に出し歸京を延しましたので、心落付きてゆつくりやすみました。

七日朝、私は足の痛が中々てしたが。ミス、レーガンは中々元氣で、すみれを取りに行かうとの仰、少し恐れ入りましたが、弱音を吐くも藝ならずと裏の山へお伴を致しましたが、谷川を渡らねばならぬに、橋はなし、石を投り込んで渡らうとしましたが、中々うまく行きません。其内に近所の人が板を渡してくれましたので山に登る事が出來ました。紫の敷物の様に咲いたすみれは東京の方々に其まゝ御土産にしたい様、座りながら籠に一杯とりました。其午後は町や社を少し見物した計りで足休めを致しました。

八日六時半に朝飯をいたゞいて二哩餘の大野といふ富士川下りの舟乘場へ參るのです。昨日一日休めた爲に足の痛みもなく大元氣になりました。舟は二十人餘の人と數個の荷物を載せました。私共二人は荷物に腰かけ他の人は屋根の下に座つて居ります。用意が出來て三人の舟夫が乘り込み綱は解かれますと舟は濁つた流れに從つて川の岩石に舟底を打つけ氣持の惡い音をさせながら下ります。急に川の曲つた所へ來ますゝ舟夫は竿で支へて程よく舟を廻します。そして時には急に時には緩に千變萬化の舟路を漕ぎつゝ、沿岸の山には野生の椿が咲いて、所々に梅の様な花も見えます。面白い形の岩も處々に見えました、上りの舟は空舟を三人の舟夫が長い綱で引いて居りましたが中々骨が折れる様でした。大野から岩淵まで九里を四時間で下るさうです。私共二人は岩淵より二里半午前の芝川と申す所で下り、岩淵まで徒歩致しました。道にはすみれや美しい草の花が咲いて居りまして、どうしても素通りする事は出來ません。澤山の摘草をしながら富士山を左に見て平坦な路を歩きました。二里も來たかと思ふ頃、私共の前に二臺の荷馬車が行きます。二人は一人づゝ馬車に飛び乘りまして馬子と東京の話や基督教の話をしながら、とう〳〵岩淵停車場へ届けてもらひました。私共は早く着きましたが、人足は中々參りません。とう〳〵三時過の汽車に後れて、次の六時を待たねばなりません。それて附近の茶屋で少し休み近處の丘に上り富士山を心ゆくばかりながめ、群れ集る子供の寫眞を撮りなどして、六時の列車にて新橋驛に着きましたのは十一時過る頃でした。

歌

海洋の歌　辻村靖子

大濤のうねりの山とよるからに
　不滿ついその波の立ちはも
沖つ波たかなる夜半にさよちどり
　なきてすくなり海士の苫やを

故郷の花　同人

わか庭の白玉椿初さくら
　ほころびそめつよはの小雨に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いまはとてわかれていなむ時にこそ
いよ〳〵花のしたしかりける

日輪

安中花子

詮もなしアダムの末に生れては罪をはなれん術も知らなく

かよわさはとなりの人の僞りをふと見破りて面ほてりする

不可思議は我が亡き後もつゝがなく照り榮ゆといふ日輪の影

横町の父のなき子も下駄はきて遊びに出づる初春なれば

花賣も三味せん彈きももの皆が遊びに見ゆる春の日の午後

其かみの夢を思ふにふさはしう春の雨そゝぐ宵の靜けさ

彙報

◉河井總幹事の出發

前號誌上報じたる通り日本基督教女子青年會總幹事河井道子姉は米國ローサンゼルスに於ける北米女子青年會大會出席かた〳〵太平洋沿岸に於ける本邦婦人及各團體等訪問の目的を以て、昨四月三日横濱發の地洋丸にて渡米の途に上りたり、願くは心身共に健全にして主の御惠の下に其の使命を全ふして歸朝さるゝを祈つて止まざるもの也。

◎東京基督教女子青年會

▲會館建築着手　東京基督教女子青年會會館新築の目的を以て資金募集に着手したるは二年前のことなるが爾來神田區北神保町十四番地に適當なる敷地を購入し、新築資金も内外同情者によつて漸次增額し來り、尙募集豫定額には達せざれども更

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らに會館必要の狀勢に迫り居ることとて、必要の資金は必ず與へらるゝものと信じて愈四月上旬より會館建築工事に着手したり來る九月初旬には落成の見込なり。其設計の概略は會館内の一部を女子寄宿舍に宛て、講堂、體操場、圖書室、談話室、委員室、事務室、臺所等に分ち、婦人の善良なる生活を導くため十分の設備をなす希望なり。又落成の上は聖書、英語、音樂、料理、家事等の各組を設けて教授研究の道も開かるべし。因に會館建築資金の豫定額に達せざるもの約壹萬圓にて内外有志より仰がんとて引繼ぎ募集中なれば有志兄姉の同情により寄附せられんことを切望すとの事なり。

▲聖書の組●●●●　從來の外にミス、マシウ擔任の英語聖書の組を新設し、隔週に三番町東京青年會事務所に於て開會し腓利比書の研究をなすこととなれり。

▲大正四年度總會　五月廿二日開會の豫定にて目下其の委員に於てそれ〴〵準備中。

▲ミス、マシウ歡迎會　四月十七日午後三時東京女子青年會聖書の組が主催となり、幹事方を御招待して、先頃御歸朝のミスマシユーの歡迎會を田町の本部で催しました。出席者は六十人で佐藤正子司會にて、石川靜子歡迎の辭を述べられ、ミス、マシウの興味深き一場の御講話があつて後、親睦會にうつり茶菓の饗應あり、皆友達となり打興じ、海老名しん子御姉妹の琴、女子學院生徒の暗誦獨唱、お話などの餘興ありて、時のうつるを忘れ、六時過ぎ閉會致したり。

◉上田保姆傳習所青年會

春風暖く百花今を盛りと野山を飾り、誠に心地よき時候と相成り候折柄、御會皆々様には益々御活動の御事と存じ上候、尚梅花幼稚園保姆傳習所にても此度新なる學期を迎へ、又新に六名の入會者を得て、一入の勇氣を加へられ、神樣の御助の下に、日々其步を進め、小なる仕事にも各々全力を盡し居り候まゝ御安心下され度候。先き頃、會長副會長選擧の結果は、御報知申上候通りに候へ共、其他の委員は此度選擧いたし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

書記、福見菊野。會計、伊東かね代。集會係、平松とよの諸姉と決定相成り候。又兼てより當幼稚園にて御會御發行の「女子青年界」御願ひいたし度く相談いたし候ところ、今後購讀のことに相成候。

◉好友園の狀況　三月二十五日第一回卒業式を好友園に於て擧行致しました、來賓父兄とで六七十名、幼稚園はもう一ぱいで此上一人も立つて居る場所もない位でした。卒業證書を受けました十二名の生徒は、もう小學校に行くといふ望に滿ち〳〵て顏が輝いてました。式の三日前に卒業生を伴れて上野の動物園に參りました、大抵は初てなので其喜びは一通りでなかつたのです。二時間半ばかり遊んで後晝飯を濟まし歸途に就きました。

四月五日新學年を始めました。新入園兒十三名、當日或る母親は砲兵工廠を休んで子供を伴れて參りました、入園を許可致しました十三名は何れも世間の方が御覧になつたら、腕白な仕樣のない兒だと仰せらるかも知れませんが、私は神樣が實に有望な子供ばかり御與へ下さつたと思つて居ります。此の活動に滿ち〳〵て居る子供を力を盡して神と人とに愛せらるゝ善きものとしたいと樂しみに祈りつゝ教育致して居ります。設立後日が淺いのですが園兒の紹介で入園志願者は昨年の九月頃から始終有りましたが、是はと思ふ志願者だけ控へて置きまして、大抵は斷りました。此三月も隨分斷りましたが、願書を出させたのが三十も有りました。然し此上の勞働者の子供がありはしないかと勞働者の住んで居そうな所に、當園設立の目的を極簡易に書いた紙を配布したり、砲兵工廠職工の通りそうな通りに、やはり當園設立の目的を書いた大きな紙を張り出して募集しました。此紙を砲兵工廠の塀にも張りたいと思つて、わざ〳〵砲兵工廠に賴みに參りましたが、許してくれませんでした。此樣な風にして募集した末、只今樂しさうに遊んで居る十三名を入園させましたのです。十三名の家庭の一部分を左に記しますと、(一)父は豆腐の賣子、母は砲兵工廠、兄弟二人(二)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

父は人力車夫、十一人兄弟(三)父は砲兵工廠、母は鋲拵へ、三人兄弟(四)父は巡査、母仕立物、四人兄弟(五)家は染物業、三人兄弟(六)父は砲兵工廠、三人兄弟(七)父は會社員(八)父母共に砲兵工廠、兄弟三人(九)父は空俵買ひ、母は繩伸し、兄弟二人(十)父母共に砲兵工廠(十一)父は砲兵工廠、母は雇ひ(十二)家は宿車業、十二人兄弟(十三)父母共料理屋の雇人であります。自然其の子供の樣子も御推測がつきませう。

當園日曜學校は生徒に別に變つた事も有りませんが、長らく當校のため御盡力下さいました陶山先生が御病氣のため今度御斷がありました。私ども敎師も生徒も大に殘念に存じました。御病氣故無理に御願致す事も出來ません、充分御養生遊ばされて一日も早く御全快遊ばす樣一同祈つて居ります。同時に只今迄の一方ならぬ御盡力を深く〳〵感謝致して居ります。

◉**女學生大會**　東京市協同傳道は前號所報の順序により擧行されしが其の先鋒運動として、去る四月十日午後二時、東京富士見町敎會に於て女學生大會が開かれました。小崎千代子夫人會を司り、三谷民子姉の祈禱に次いで、海老名彈正氏「基督敎と敎育」てふ題の下に、

敎育には敎へ育つることと、敎へ育てられるものとの二要素があるとて、其の例を桜にとり、又希臘は世界に先立つて、實に好く文藝の行はれた國であるが、これは希臘人其のものが優良なる人種であつたが爲で、我が國の文化も又然り、と論じ來り、基督敎は我らに何を與ふるかと云ふ問に說き進められた。其の第一に與へるものは、精神である、生命とか力とか云ふ素を與へる。耶蘇の言に薊より葡萄を採り、薊より無花果を採るものはない、善き樹は善き實を結ぶとある、是れは解り易い言てあるが、敎育の大眞理を示したものである。即ち育とよりも氏を敎へたものである。又基督敎は人間を泥の化物とは敎へない。基督者になるには、偉大な力、肉身よりも偉大なる力がある事を自覺する。靈魂、日本人が考へるやうなものでもない、幽靈でもない、極めて明白な眞實な實體あり、力ある靈魂がある。其品質は善良なもので、其力は人間の目に見えるものでは滿足しない、美しい衣服、美しい化粧、美しい家などは何でもない、もつと高いもの即ち天地の神を慕ひ憧れて居る。それで、善なる事は進んで、之れを行ふ。義しい方に自然に向いて居る。今日、或は道德を疑ふものがあるが基督者の如く、神を父として仰ぎ憧がれる樣になれば、天父の完全きが如く完全からんことを欲する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に至り、義しき事をせずに、居られなくなるのである、腹の中から道徳が出て來る。是が眞の敎育の要素である。更に轉じて、基督敎は敎育の素質を與ふるのみならず、又境遇即ち神の國を敎ふることを說き、其うちには神の子の標準たる基督あり、又父なる神ありて人類を支配せられ、天地を其の宮とし、我が體も靈をも宮とし、又神の子たちの團體、義人たちの交際に入りて、之に化せられ、眞の人格が敎育せられる。カントは神の子の人格は神の國がなくては成育せぬと云つた。皆さんはこの國の民となるか否か、今日は其去就を決すべき時であると、痛切に訴へられた。

次に井深梶之助氏の「福音とは何ぞや」にて、

先づ福音の起源を論じ、路加傳の初に天使が我萬民に關りたる、大いなる喜びの音づれを汝等に告ぐ、と云つたとの記事より來るとなし、次に其内容を說かれた。其第一は天地の主宰にして、我が靈魂の父なる神を、我らに示すか、福音であるとて、神の存在と其の屬性を詳說し、第二は我らの救の道を示す故福音であるとて、罪惡の惡むべき事、及其力の強き事を說き、基督に於て此力より救はるべきを語り、最後に如何にせば此の福音を我がものとなしうべきかの問題に及び、是れ即ち悔ひ改めて福音を信ずるに在りとて其意義を說明して、悔改と信仰とを熱心に勸められた。

終りに木村清松氏は傳道に對する其所感を述べ、會衆の決心を促された。當日志道者洗禮志願者をして名刺札に其姓名を記入せられし姉妹四十餘名にて、出席せられし未信者の殆ど全部を占めて居つたと云ふ好結果で誠に好いお集會であつた。總出席者數は三百名を算しました。

◉東京協傳婦人大會　四月十五日午後二時麴町大手町日本衞生會で三谷民子姉司會の下に開かれました。河本夫人祈禱を捧げ、讃美歌につぎて、新渡戸博士の「宗敎と慰安」と云ふ題の下に穩健にして且人生の機微を穿つた御話があり、續いて、廣岡淺子夫人「信仰と婦人」と題して、

近頃日本の社會が、漸次腐敗墮落して、昨日まで社會の重地位を占めて居た人が、今日も獄中に呻吟する樣になつたのは、男子にのみ其罪を問ふべきでなく、女子にも之れに對する責任があり、之れが今日日本に眞の良妻賢母のなき證據で、婦人は宜しく覺醒せねばならぬ。覺醒するには、宗敎に依らねばならない。宗敎は何れでも良いと云ふが、「蛇を見るとも女を見るな」と云ふ佛敎や「女子と小人養ひ難し」と、全く婦人を無視した儒敎にひきかへ、特に婦人を愛し、婦人も何男子と同一に向上し得る力のある事を敎へ、一夫一婦の倫を立てた、この無爲の基督敎に依るべき事を說き、「人は決して神の全きが如く完全きものはなく、皆罪人である。然しこれが神の子基督により、私の樣な六十を越した老婆でさへ生れかわる事が出來る故、皆樣も自分の小さき事を思ひ、立つて頂き度い。」

と實に壯者を凌ぐ凛々たる勇氣と熱誠をもつて、悔改と信仰を促され。次に外村義郎氏は「宗敎の眞髓」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てふ題の下に、

基督教の眞髓は、基督が三十三年間の苦しき生涯の終りに、彼の十字架の恥を忍び、血を流して基督を信ずるに依りて、罪ある我々を救し、眞の神と一致和合する事を得る、即ち艱難に遭遇するも、尙神に充たされる宗教であると說き、神に充たさるゝにより、第一善惡の區別を知る智識、第二恐るべき誘惑にかつ力を與へられ、第三に如何なる苦境に陷るも、尙その中に祝福を見出し、のみならず人の爲に盡す犧牲の精神を得る事が出來る。これには已が神に對するの罪深きを知り、主基督を受け入れねばならぬ、而してこれに從ひ十字架に現れた神の愛を味ひ、永遠の生命を得る所である。

と論じ、終りに宗教特に基督教は其の入るべき所に入らねば、理解する事の出來ぬ事を述べて、基督教の話のみをきいて、未だこれを研究し信ずるに至らなかつた會衆の決心を促されました。終りに新聞傳道につきての御話しありて散會しました。この日の出席者は八百名内外にて階上階下一つの空席もない程の盛會で、志道者として名刺にその姓名を記されし方も亦少なからざりし由。

▲婦人矯風會總會　日本婦人矯風會にては去る四月一日より同三日まで京都市同志社女學校に於て第二十三回總會を開きました。全國の各地より出席の代員は約八十名にて非常の盛會でありました。議事懇談、報告すべて活氣ある集會にて特別集會としては教育者大會少年少女禁酒軍の如き頗る成功で御座いました。又本年の大典祝賀には何れも藝妓を出席せしめざるやうにする事、及近き將來に於て全國の公娼廢止を期して活動すること等の決議もありました。又來年の總會開催地は横濱と決しました。

消息

○廣岡淺子　日本女子青年會中央委員同夫人は四月上旬より御上京にて、目下東京市協同傳道應援中。

○大谷ろく子　横濱捜眞女學校出身なる同姉は、兼て米國加州ロサンゼルス日本婦人女子青年會幹事として御赴任の筈なりしが愈々四月二十四日午後三時御出帆。

○藤浦初音子　東京女子青年會々員なる同姉は今回東京女子高等師範學校を卒業せられ、岡山縣井原高等女學校に赴任。

○大山かれ子　同右、京城公立高等女學校に赴任。

○宮崎千代子　東京女子青年會々員なる同姉は四月二月高月一郎氏と結婚。

○湯川きみの子　御病氣日々快方に赴かれ目下安藤坂寄宿舍に止宿。

○安東庸子　大阪なる同姉は四月中旬御上京に相加り母君と本部御訪問。

○三谷妙子　日本女子青年會中央委員三谷民子姉の令妹なる同姉は今回女子學院を卒業せられ、目下ミスミリケンの助手として働かる。

○加藤てい子　同姉は今回奈良女子高等師範學校を卒業せられ、富山縣氷見實科高等女學校に赴任。

讀者便り

○主の御惠と御教訓とを味ひ

札幌　高倉壽子

御會の益々御盛に向はせられ候事上よりの御惠と委員諸姉の御熱心なる御活動による事と感謝致し居り候。扨近頃は別段取りたてゝ申上ぐる程の事も之れなく候へ共、唯私共は豐なる御恩寵の下に二人の小供を中心として賑やかな生活を致し居り、餘り惠になれ感謝の念乏しきを畏れ多く存じ居り候。毎朝食前には先聖書をよみ宣りたる二三の題目、例へば教會、日曜學校、猶太人、東洋傳道、求道者、同情を寄すべき人、友人の爲其他に就て家族の禮拜を致し障りのなき限りは實行致し居り候。夜は思ひ〳〵に聖書を讀み祈るのみに候。私共の教會にては諸集會多く、目下求道會三度、祈禱會、家族祈禱會、其他毎月一日婦人會、男子青年會、中學生會、女子青年會。私なども其の時、小供や家事の爲に追はれ、禮拜祈禱會、婦人會、時として青年會に出席致し、訪問日は一週に一二度其他來客あり、時々種々の集會を宅にて開く位に候。尊き時を多く私致し居り候を誠に殘念に存じ居り候、何卒如何なる業をなし居る時にも、絶えず與へたもふ主の惠と御教訓とを味ひ、常にキリスト我と共にありとの實驗を得て、主に喜に入れらるゝ日の來る樣とのみ切望致し居り候。

○誠に張合よく生活を致して居ります

埼玉縣　關根まつ

扨復おなつかしき御葉書嬉しく拜見いたしました、吾が愛する「女子青年界」は日々に賑々しく、御發展の由誠に喜ばしく思ひます。偏に愛に富める神樣の御惠、又先生方はじめ、皆々樣の御熱烈なる御祈りと、御骨折にあるならんと、眞に嬉しく　難く感謝いたす次第で御座います。扨て此度は層一層と、雜誌の御發展を御祈りの由、眞にうれしく存じます。小妹は永遠變らざる天父の下に、日々樂しく家事の手傳を致しまして、相變らず平凡の月日を送りつゝ居りますから、他事ながら御休心下さいませ。當地は有名な秩父山中の事とて、教會もなく又道を語るべき友とて一人も御座いませんので、誠に心淋しう御座いますが、これも神の御攝理とあきらめて居ります。朝な夕な神の前にひざまづき讚美し、御祈り致しますのが、無上の樂しみで御座います。御蔭樣で日々、神の使命の重大なる事、又自分の身の卑しく汚れて居る事を、知る事が出來ますので、誠に張合よき生活を致して居ります。無經驗なる、又信仰うすき私とて、別に書き記すべき事とて御座いませんので、誠に御恥しう御座いますが、亂書亂文を以て、一寸申上げます、末ながら先生はじめ、皆々樣の上に、日々神の祝福の豐かならん事を祈り上げます。

○今より夏期修養會の事を樂しみ居候

尾ノ道　阪本花代

都に劣らず當地の櫻も今を盛りと咲きほこり居り候へども、私は毎日忙しくて、御花見などゝうかれる暇もなく、新入の一年生乙組五十人の御世話に追はれ居り候。始めて新入生の學級主任となりて、小學校の先生にも、深い〳〵御同情を申上ぐる樣になり、實に好い經驗を與へらるゝことゝ、感謝いたし居り候。大勢の生徒に接する間に、不親切なる行爲のなき樣どこまでも、愛に滿ちたまふキリストの御跡にならひ度しと、祈り居り候。世の中に深く入るにつけ、神樣の有がた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さ身にしみ候。幸ミスガーヴインの許に居り候まゝ、聖書をもつと研究いたし度しと、はげみ居り候、今より夏期修養會のこと思ひ、樂しみ居り候。ベルギー同情會のこと、中々思ふ通りに寄附金も集まらず困り居り候。出來るだけ盡して本月末までには、御送り申上げべく候思想のなき地のことゝて、萬事困ること多く、何卒神の御榮のかゝる地に一しほ現はるゝやう御祈り被下度候。

○「女子青年界」をお目にかけて居ります

臺北　大谷槇子

其後本部の皆々樣には御すこやかに御國の爲、人の爲めに御盡力遊す御樣子、承知いたし、かげながら感謝いたして居ります。女子青年會の御事業日ましに御發達、いよ／＼御事しげき事と存じ上げます。當地にも青年の愈々旗上げ致すべき機運が熟しまして、過日來フイッシャー氏と栗原基氏御渡臺、色々と御相談も御座いました樣です。皆樣女子青年會もその設けらるゝことを、御望みて御座いますけれども私共も何かしら其の時々の仕事に追はれるばかりで、尙進んで、それまでに手をのばします餘裕が御座いませんで、大變に殘念に存じて居ります。「女子青年界」も追々お目にかけましては、良き信仰の養を分ちますやうに力めて居りますが、其のとりまとめをいたします力が足りませんので、何の御役にも立ち得ず、甲斐なき事と存じます。

會費も一月中に御送りいたすべきはづと心付き居りながら、皆樣に御目にかゝります時毎に、他の事にとり紛れて、御話いたするを失念いたしなどいたしまして、相濟みませんでした、成る可く取りまとめてと存じましたのと、他に御話を致し度いと、存じます方も御座いますので、つひ／＼今日に至りました。餘りのび／＼になります故、今御送り申上げますから、何卒御受取り被下まし。

○あの奇麗な花も間もなく散るでせう

名古屋　八木順子

ところをき庭にも春はまゐりました、花は開きました、一年の榮光が一日にあつまつた樣て御座います、私は今、この奇麗な愛くるしい花の下で、この神の暗示の許で、ともすればにぶり勝ちなる筆をかみしめて、一言御返し申上げます。青年會の役員並に會友諸姉の、靈肉ともに御健全なる日々を御送り遊ばす事を、遙かに御喜び申上げます先日に近狀をしらせよとの御報に接しまして、今更に御はづかしく、亘且、大なる自己の存在を、深く／＼考へさせられた次第で御座います。顧みれば、舊き我から新らしき我に導かれましてから、どれ丈神に喜ばるゝものとなりましたらうか、考へる時は凡て現在でありましたらうか、事はすべて歡喜でありましたらうか、此樣に指摘すればする丈、自己の弱さ、而して努力のたりない事に、思ひ到りまして、一層背に汗を覺ゆるので御座います。しかし折角の御命令に御背きするも、心ない業で御座いますから、以上の御恥かしき現在を告白し、いさゝか近頃の所感を逃べて、責をふさぎ度いと存じます。汗血千里、御はづかしさの念に充たされ、汗を流しながら、いよ／＼信仰の道に進まむが爲に、愛する姉上樣方の御導を只管希ふもので御座います。先づ先達主の御受難週から復活祭にかけて、病氣でありました爲に、思ふさま靜かに默想し、意義深き主の十字架について思ひめぐらす事の出來ました事を感謝いたして居ります。眞に私共は靈界の貧血病者で御座います、日々勇者となりうる壯健の身體をつくる、暖かき血液を缺いで居ります。それが自己の身體を鍛える處の寒さであつても、縮み上つ

てしまひます、色々な美しい教訓を齎す雪でも、凍えてしまひます。朗らかな春の日、暖かな光は誰しも望むところで御座いますが、周圍の寒冷にも冷刻にも恐れず、凡て事に當る力を養成する事は、もつと必要で御座いませう。綠の野に臥し、休憩の水際に伴はるゝ事も、望ましい事で御座いますが、又魂が活かされて、美しき道に導かれる事は、尚大切な事で御座いませうと存じます。「平穩にして依頼まば力をうべし」とはさが信者になりましてから、切に感ずる事で御座います。沈默を守りて、自ら努力せず、神の行動をまちますならば、やがて神の不思議な力が加へられます、而しく强くなり、救はれて敵にかつ事が出來るので御座います。まことに私は神の大なる御使命を帶びてゐる者で御座いますが、かゝる不束者の事とて、いまだに其御使命の萬一たにも、全うする事の出來ないといふ事を、告白し、ければならないのが、實に殘念で御座います。夫と妻と、而して其一人子とが、秋の靜かなる宵に燈火をかこんで座し、頭をたれて神に祈る、月は淸らかにすみ、雁なき渡る、この幸福なる、美しき家庭の光景は、朝に夕べに、私の胸にゑがゝれてゐるので御座います。となたかゞ云はれた樣に、家庭は大なる鏡で御座います、夫の眞は妻に、妻の情は夫に、親は子に、子は親に相映ずるもので御座います。病院であり、學校であり、而して樂しき王國である家庭は、神により、クリストを信ずる事によりて、いよ〳〵充實されるもので、御座います。クリストを病院長として、自分は其助手となり、クリストを校長と仰ぎ、自分は其敎師となる、こゝに家庭の一意義を見出す事が出來るのでは御座いますまいか。淸められ、高められた、其美しい家庭はかくして實現されるのでは御座いますまいか、誠に言ひ易く行ひ難く、クリスチャンとしての名實そはぬ心苦しさは、頻りに筆の先を鈍らせます。しかし信者になりましてからは、いかなる苦痛にも、いかなる歡喜でも、上調子でなく、其深遠な意味を思出して、凡ての事に感謝する事が出來る樣になりました。いかなる苦痛でも主の十字架を負いてたつ身には、何の痛手も被らない筈で御座います、こゝに於て常に喜び斷えず祈り、凡てを感謝する事が、出來るのであ　と存じます。扨中京の名稱をもつてゐる當地としては、ふさはしくない事が隨分ある樣に聞き及びますが、クリスト敎に冷淡なるも、その一つで御座いませう。宣敎師や外人が町を歩きますと、大人から小供まで、珍らしそうに眺めたり、ついで來たりする物見高きは、數年前と少しも變りはないといふ事で御座います。凡てがこんな風で御座いますから、御敎の爲に働いていらつしやる方は、隨分御骨折りの事と存じます、でもこの五月には協同傳道が開かれますので、聯合修養會が毎夜こゝの教會で催されます。子供も少しづゝ手離れ始めました只今の中に、何程か神の御役に立ち度ものと心掛けて居るので御座います。あの奇麗の花も間もなく散る事で御座いませう。一日の榮華は實に風前に失する、これが常の世のさがなので御座いませうか……、然れどもヱホバの言は變ることなし……と、あれ花が散ります、また散ります、落花情あり、花の一片の行衞をも心をいたむる詩人は、やがて來るべき凋落の悲哀を、どんなに淋しいものに謳はれる事で御座いませう。凋落の悲哀!! 凋落の悲哀!! 然かも凋落は復興の兆では御座いませんか。私共はこの落花深き所に、全能なる神の御意(こころ)について靜かに考へるはづで御座いませう。色々前後もなく申上げましたが、要するにより高き、より難きより聖き日々を送る事をえ、而してたかく情界に庇して、靜寂の歡喜にみたしめ給へと切々に祈りてやまざるもので御座います。終りに靑年會の上に、並に役員會友諸姉のうへに、神の恩惠のいよ〳〵ます〳〵豐かならん事を祈り奉ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○會友申込（本部報告）

（普通）渡邊靜子　小林勝子　小野小松
上野梅香

○會友會費領收（本部報告）

金壹圓也
今井きぬ（自大正四年二月至同五年一月）　渡邊靜子（自大正四年四月至同五年三月）
小林勝子（自大正四年四月至同五年三月）　小野小松（自大正四年四月至同五年三月）
守田長代（自大正四年二月至同五年一月）　笹尾やす（自大正四年二月至同五年一月）
中松やす（自大正三年四月至同四年三月）　北原延子（自大正四年四月至同五年三月）
柳井直子（自大正三年十二月至同四年十一月）　上野梅香（自大正四年九月至同五年八月）
三好眞子（自大正四年六月至同五年五月）　原田ことぢ（自大正四年四月至同五年三月）
金貳圓也
ミス、ハーグレーブ（自大正三年月至同四年六月）

○雜誌「女子靑年界」代金領收

金七拾錢也
富士淸野（自大正四年二月至同五年二月）　浦四三子（自大正四年一月至同年十二月）
伊藤みる（自大正四年二月至同五年一月）　佐久間マキヱ（自大正四年二月至同五年一月）
石原幸子（自大正四年一月至同年十二月）　同志社靑年會（自大正四年一月至同五年一月）
渡邊仲枝（自大正四年四月至同五年三月）　宮腰みどり（自大正四年二月至同五年一月）
島村きよ（自大正四年三月至同五年二月）　谷井美代（自大正三年四月至同四年三月）
小林秀子（自大正四年二月至同五年一月）　和田とま（自大正三年十一月至同四年十月）
本多かず（自大正四年四月至同五年三月）　阿部つや（自大正三年十一月至同四年十月）
弘前女學校靑年會（自大正四年四月至同五年三月）
金參拾五錢也
吉井きん（自大正四年一月至同年六月）　太田花子（自大正四年二月至同年七月）
金壹圓也
高添この（自大正四年一月至同五年四月）　中村玉子（大正四年二月分十五冊代）
金壹圓四拾錢也　菊地ちぢ（自大正四年三月至同六年二月）
金六圓〇九錢也　共立女學校（大正四年三月分八十七部代）
金壹圓六拾錢也　ミス、ヒトネン（大正三年度不足金及自大正四年一月至同十二月二部代）
金貳圓也　中須のぶゑ（自大正三年十一月至同五年六月）
金四拾貳錢也　安孫子久江（自大正四年四月至同年九月）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

THE YOUNG WOMEN OF JAPAN

May, 1915

Miss Michi Kawai, national secretary, sailed by the Chiyo Maru on April 3 for San Francisco, to be the guest of the National Board of the Young Women's Christian Association of the United States at their Biennial Convention to be held in Los Angeles from May 5-11; also at two summer conferences to be held on the Pacific Coast; but especially to spend as much time as possible in investigating the emigration problem of the American Coast as it concerns Japanese women. It is believed that an important element of the problem in America is the home-making which directly concerns the women. If they know nothing of American ideals and life they can not be expected to fit into it and to bring up their families in accord with it. Miss Kawai is well-fitted to study this question at first-hand and the needs to be met, and on her return to Japan she will be able intelligently to guide and help shape the policies of the Association in its attempt to help in the solution of the problem so far as it is affected by the emigration of Japanese women to America.

There are two Japanese Young Women's Christian Associations on the Pacific Coast. One of them is in San Francisco, the president of which is Mrs. T. Komuro and the general secretary Mrs. B. C. Haworth. There is an Association home at 1120 Gough Street. If our readers know of Japanese girls on their way to America, please give them this address and advise them to telegraph to the Association a day or two before landing, so that some competent person may meet them and look after them on their arrival.

The other Japanese Association is at 337 Winston Street, Los Angeles. For nearly two years Miss Helen Topping, formerly in Morioka, Japan, has been general secretary. The president is Mrs. Baba, wife of a Methodist minister in that city. On April 24 Miss Roku Otani, a graduate and teacher of Soshin Girls' School at Kanagawa, sailed for Los Angeles, to become the new geueral secretary of that Association in Miss Topping's place. Just recently San Pedro has been made a Port of Call for Toyo Kisen Kaisha boats, so that girls for Los Angeles will be landed there. Thus the work of Travellers' Aid becomes also an important part of the Los Angeles Association.

The Yokohama Association is printing two leaflets, one concerning the San Francisco Association, and the other containing general information, for the use of women who are going to America. We desire these leaflets to reach as many as possiple of those who will make use of them, and information will be gladly received.

The Tokyo Association has begun its new central building in Kanda-ku, and hopes to be able to go into it by the first of September. Class-rooms, domestic science rooms, gymnasium, a small dormitory, secretary's offices, and foyer are the principal features. At present the work of the Association is being done from the home of the secretaries as the principal center, but it is expected that many more girls can be reached with the attractions and greater conveniences of the new building.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎常盤唱歌集演藝集第一、第二

孰れも定價金四拾錢、郵税金六錢

◎舊約全書一年研究　定價金四拾錢　郵税金六錢

◎耶蘇一代記　定價金貳拾錢　郵税金四錢

◎聖書修身談　定價金貳拾五錢　郵税金四錢

◎日曜學校五十教課　定價金八錢　郵税金貳錢

◎文字の話　定價金拾貳錢　郵税金貳錢

◎十誡の話　定價金參拾錢　郵税金四錢

右の外日曜學校教師諸君の用ゐられて有益なる雜誌も亦生徒諸子に與ふる面白きカードなど澤山取揃へこれ有候間目錄御入用之御方へは御申越次第直に進呈致すべく候

横濱山手三十七番　**常盤社**

National Committee

Headquarters. 12Tamachi Sanchome, Ushigome, Tokoy

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. Tomo Inouye, Treasure
Miss Michi Kawai,
Active Member World's Committee

Resident Members	Non-Resident Members
Miss Ume Tsuda	Madame Asa Hirooka, Osaka
Miss A. B. West	Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss Uta Suzuki	Miss M. F. Denton, Kyoto
Miss Kita Hasegawa	Miss Michi Matsuda, Kyoto
Miss Sarah Ellis	Miss Yoshi Kajiro, Okayama
Miss Chiyo Yamada	Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. E. W. Clement	Miss Susan Searle, Kobe

Secretaries

Miss Michi Kawai, National
Miss A. C. Macdonald, National,
Miss Ruth Ragan, National Office
Miss Margaret Matthew, on Furlough
Miss G. R. Watney, Acting General, Tokyo
Miss Mary Page, Acting Associate, Tokyo
Miss Emma R. Kaufman
Miss M. Baker General, Yokohama

本誌定價	
一部(郵共)	金七錢
一ケ年分	金七拾錢
海外	金拾壹錢
	金壹圓廿錢

廣告料	
一頁	金六圓
半頁	金三圓五十錢
四分ノ一	金貳圓
一行	金貳拾錢

大正四年四月廿八日印刷納本
大正四年五月一日發行

發行所　東京市牛込區田町三丁目十二番地　日本基督教女子青年會
編輯兼發行人　東京市牛込區田町三丁目十二番地　河井道子
印刷人　東京市芝區櫻田和泉町七番地　前川吉次郎
印刷所　東京市芝區櫻田和泉町七番地　三成舍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子青年界第拾貳卷第五號

大正四年四月廿八日印刷納本大正四年五月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可

EUTHYMOL COLD CREAM

科學的に研究されたる皮膚保護料

ユーサイモールコールドクリーム

所謂化粧クリーム中の化粧クリームにして之を用ゆるも脂膩の感なく垢脂を除去し曬斑（ヒヤケ）を豫防し且丘疹（ニキビ）の發生を妨げ能く皮膚を淸白且滑澤ならしめ最も白粉下に適す

定價　壹個金六拾五錢

發賣元　東京市日本橋區室町三丁目　三共株式會社

SUGAR COATED TABLETS CASCARA

常習便秘に最も卓効ある緩和下劑

カスカラ糖衣錠

本品は頗る緩和に腸の蠕動を催進し決して小骨盤腔の充血を起す等のことなく服用者は六－十時稀には二十四時の後舒通の爽快なる便通あるを特色とす故に姙婦及月經中の婦女と雖も服用して害なく又之を運用するも習慣を作さゞるを以て最も常習性便秘に適應す

用量　一回二錢宛一日三回又は一回三－六錠を空腹時又は臨臥時に服用す

定價　百錠金參拾貳錢、五百錠金壹圓卅五錢、千錠金貳圓四拾錢

發賣元　東京市日本橋區室町三丁目　三共株式會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA